科　目　名
中国語 Ⅰ **Chinese Ⅰ**

2年　前期　2単位　選択

単　援朝・秦　寧
許　蓉

概　要

中国語は漢字が使用されているから日本人学習者にとって学びやすいと思われがちであるが、発音や文法など言語としての系統が全く違うので外国語として学ぶほかない。中国語Ⅰは中国語を初めて学習する人のための入門・初級コースである。中国の基礎を身につけるよう、週一回の授業で中国語の発音をはじめ、日常生活に密着した語彙、表現および簡単な文法を学ぶ。

目　標

1）ピンインを正しく発音できるようにする。
2）簡単な会話ができ、短文を理解できるようにする。目安として中国語検定試験準4級程度の学力を養う。

授業計画

	テーマ	内　容
①	中国語あれこれ	中国語の発音、語彙、文法などについて概説
②	発音	単母音、子音
③	発音	複母音、音節、声調、軽声
④	初対面	判断・紹介の表現、人称代名詞、疑問文(1)
⑤	訪問・取り次ぎ	存在・懇請の表現、基数詞・序数詞、疑問文(2)
⑥	日程	勧誘・時間の表現、形容詞述語文(1)、連動式、疑問文(3)
⑦	買い物	見方・頻度の表現、指示代名詞(1)、疑問代名詞
⑧	復習・中間テスト	第一課～第五課
⑨	相談	存在・時刻の表現、指示代名詞(2)
⑩	西安旅行	意志・可能・経験・願望の表現、助動詞(1)
⑪	チケットの予約	方式・願望の表現、連動式、助動詞(2)
⑫	休暇の計画	補語(2)、疑問文(4)
⑬	手紙	曜日・週間の言い方、手紙の書き方
⑭	復習	第五課～第九課

授業方法

発音練習、会話練習と文法解説を交互に行う。毎回、授業の最後に練習問題を課す。

学習到達度の評価

① 授業中に発音、会話させたり質問したりして理解度を促す。
② 毎回、その日に学んだ内容を中心とする練習問題を課し、次回の授業の冒頭で正解を発表し、問題点の指摘、解説を行う。
③ 中間テストと定期試験の講評を行う。

評価方法

練習問題、中間テスト、定期試験の成績で総合的に判定する。

教　材

教科書：王忠義・単継清 著「中国への招待」 熊本出版文化会館
辞　書：姜晩成・王郁良 編「精選日中・中日辞典」 東方書店

履修上の注意

語学の勉強は一般の授業と違って、単なる講義を聞いて理解するだけでなく、真似たり、考えたり、口にしたりすることなどが必要であるということを心得て、双方向的学習を目指すように授業中発音練習、会話練習に積極的に参加すること。単語を覚えることも重要である。